

地域イノベーションLAB 活動報告

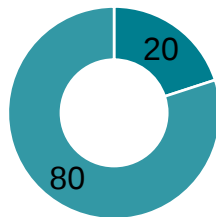
古市悠己
2026年2月14日



高齢化進行と地域への関心低下により課題に直面しています。

自治会活動を知らない住民

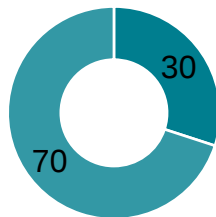
■ 知っている ■ 知らない



- 情報発信の課題が浮き彫り

自治会に関心がない住民

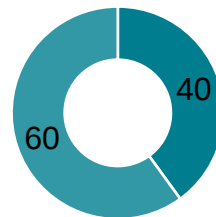
■ 関心がある ■ 関心がない



- 参加ハードルの高さに課題

支援不足を感じる高齢者

■ 満足 ■ 不満足



- 日常生活の負担軽減が急務

地域課題を解決し、世代を超えて支え合える地域づくりを目指す。

高齢者の生活利便性向上

相互扶助の仕組みづくり

1

世代間交流の機会創出

地域のつながりを再構築

2

3

自治会活動の持続可能化

次世代の担い手確保

3つの柱で進めるイノベーション



PayPayを導入することで、自治会費やイベント参加費の集金が簡便化され、透明性と利便性の向上を目指す。



BANDの活用

BANDを用いた情報共有により、地域住民間のコミュニケーションがより効率的を目指す。



高齢者支援活動

高齢者支援として、庭木の手入れや見守りを行うことで、高齢住民が安心して生活できる環境を整える。

BAND説明会を開催により高齢者の登録率向上



BAND説明会を開催

- 導入時に住民向け説明会を2回開催
- 保護者・高齢者にもわかりやすく案内
- 登録サポートを実施し、参加率向上に成功

町内のイベントスケジュール、情報共有がシームレスに

BAND Band、ページ、投稿を検索 🔍 新着

投稿 アルバム 予定 添付一覧 メンバー



向台自治会
メンバー 118 ・ 招待
Band概要設定 >
投稿
このBand名と内容は非公開です。メンバーは招待を通してのみ参加出来ます。
目標のレコーディングを設定する
Band設定

アルバム 写真登録

全ての写真300
2025年10月5日に最終更新されました



リアクションが付いた写真

BAND Band、ページ、投稿を検索 🔍 新着

投稿 アルバム 予定 添付一覧 メンバー

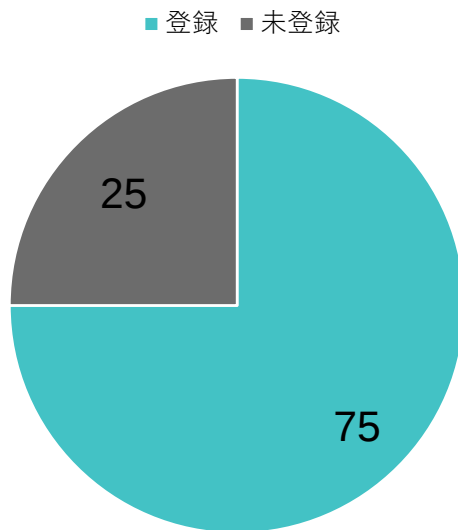


向台自治会
メンバー 118 ・ 招待
Band概要設定 >
投稿
このBand名と内容は非公開です。メンバーは招待を通してのみ参加出来ます。
目標のレコーディングを設定する
Band設定

● グリー... ● 社協

5 日曜日	大森小地区体育祭 9:00 - 14:00 ・ 千歳市立大森小学校 参加する 17 ・ 参加しない 24 ● 基本予定表・会長 古市悠己	
13 月曜日	社会福祉協議会 18:30 - 20:00 ● 役員専用・会長 古市悠己	
スポーツの日		
26 日曜日	グリーンベルト花の植栽 11:00 ● 基本予定表・会長 古市悠己	
28 火曜日	社協 10:00 - 12:00 ● 役員専用・会長 古市悠己	

BANDの利用により情報共有が大幅に改善され、地域活動への参加率が向上しました。
75%の住民がBANDを登録し、効果的な情報発信が実現されています。



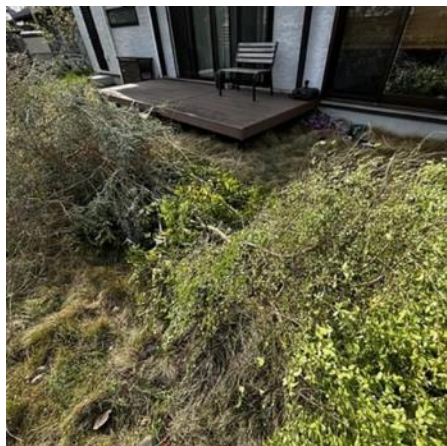
BAND導入による情報共有改善

BANDの導入により、情報共有が効率化されました。特に高齢者においても、紙媒体からデジタルへの情報移行が進みました。

住民の登録率および参加率の向上

BANDの登録率は75%に達し、未登録だった25%の住民も徐々に参加を開始。情報発信効果が顕著で、地域行事への新規参加率も向上しました。

地域の高齢者支援活動の報告



草刈り支援

自治会のボランティアが高齢者宅の草刈り支援を行い、身体的負担を軽減し、住環境を維持しています。



庭木の手入れ

高齢者の庭木の手入れを支援することで、庭の美観を保ちつつ、高齢者の生活の質向上に寄与しています。

様々な行事を通じて世代を超えた交流が図られ、地域の連帯感が強化されました。



餅つきの様子

《写真：餅つきの様子（世代交流）》餅つきでは、高齢者が伝統的な技術を若者に伝える姿が見られました。餅つきは地域の絆を深める場となり、多くの参加者が一丸となって行事を楽しみました。



夏祭りの様子

《写真：夏祭り会場全景》夏祭りでは、世代を超えて準備を行い、今まではなかった各世代の方々との交流の場にもなりました。



世代交流の効果

様々な行事を通じて、異なる世代が一つの場で交流する機会が増えました。この結果、地域全体の絆が強まり、次年度の活動にも積極的な参加が期待されます。

地域イノベーションLabの活動による2025年度の成果を整理します。



Our Goal 01

情報共有の向上

BAND導入により、住民同士のリアルタイムな情報共有が可能になり、参加率が75%まで向上しました。紙媒体では難しかった即時性と双方向性が実現しました。



Our Goal 02

地域参加の向上

夏祭りやイベントの参加者率増加し、自治会活動に積極的に参加するようになりました。イベントの参加を通じて地域のつながりが深まりました。



Our Goal 03

高齢者支援の拡充

高齢者支援活動により、「自治会に頼れる」という安心感が広がりました。無料の支援活動が信頼関係の基盤を築きました。

2025年度の活動を通じて明らかになった課題を整理 今後の具体的な改善点を示します。



高齢者のデジタルリテラシー不足

地域の高齢者がデジタルツールを利用する際のリテラシーが不足



ワークショップを定期的開催

使い方をすぐにでも聞ける環境づくりの構築
イベントなどにブースを出すなど工夫。



若い世代の参画促進

まだまだ、自治会に対して若い世代の参画が乏しい。5名～6名の新規参加



向台ちょこっと参加PG

役員就任を前提としない”向台段階参画プログラム（通称：向台ちょこっと参加）”を導入し、誰もが無理なく地域と関われる仕組みを構築



高齢者支援の普及

初年度ということもあり、依頼件数が伸び悩んでいる



認知と実績の向上

実例を踏まえた案内をBANDおよび回覧で周知。
口コミを含めて輪を広げていく。

2025年度の成果を基に、2026年度は定着フェーズに進むための具体的な計画を示します。

▼ 高齢者支援の依頼件数の増加

デジタルツール活用のさらなる促進、高齢者支援の周知徹底、事例紹介。より多くの方が依頼できる仕組みを構築。

▼ BAND普及率の向上

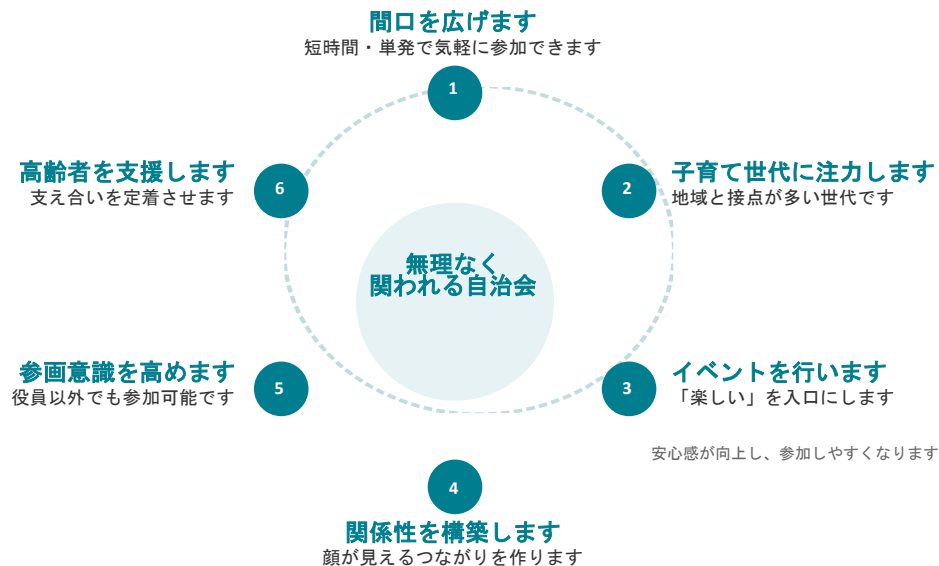
BAND登録率を80%に引き上げ、併せてPayPay利用率向上に尽力にする。

▼ 若い世代・子育て世代の参画促進に向けた取組み

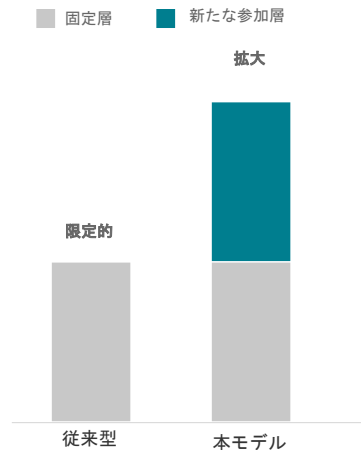
働く世代・子育て世代が無理なく自治会と関われるよう、子ども参加型イベントを中心とした取組を実施する。夏祭り、餅つき、芋掘り、灯籠イベントに加え、パン作りイベント、子ども食堂、寺子屋イベント等を開催し、子育てや生活負担の軽減につながる機会を提供する。

また、「役員就任」を前提としない、短時間・スポット型の参加形態を明確にすることで、参加に対する心理的・時間的ハードルを下げ、自治会活動への参画の裾野を広げる。

子育て世代の役に立つイベントを実施することで 地域の支え合いを生み出す持続可能な好循環モデルを追求



期待される参加層の拡大（イメージ）



参加ハードルを下げることで、
多様な層を取り込みます。



まとめ

私たちが2026年に目指す形

自治会は、特別な人のものではありません。

できる人が
できるときに
できることを
その積み重ねが
向台自治会の安心と未来をつくれます。

ご清聴ありがとうございました。